

世 界 史
(歴史総合・世界史探究)

- I 1648年に締結されたウェストファリア(ヴェストファーレン)条約において取り決められた代表的な項目を3点取り上げ、その内容を説明したうえで、この条約がその後のヨーロッパの国際関係に及ぼした意義について述べなさい。(400字以内)

II 18世紀のヨーロッパでは人々の社交のあり方が大きく変化し、ウィーン体制期に入ると「市民結社の黄金時代」と呼ばれるほどクラブや協会の活動が活発化した。こうした事情を踏まえ、18世紀後半から19世紀にかけてヨーロッパで「市民結社」が発展した背景を前近代の中間団体との相違に触れつつ説明した上で、その政治文化史的な意義と限界を論じなさい。ただし、下記の語句をすべて必ず使用し、その語句に下線を引きなさい。(400字以内)

植民地物産, メディアの発達, ギルド

- Ⅲ 次の文章は、国際法学者で日本の外務官僚の倉知鉄吉が、1909年に自身が「韓国併合」の語を考案した経緯を、のちに回顧して記したものである。これを読んで問いに答えなさい。(問1、問2をあわせて400字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

(春畝公追頌会編『伊藤博文伝 下』より引用、ただし一部改変)

問1 下線部が示す1867年に成立した同君連合の帝国名を書きなさい。

問2 1905年以降の朝鮮植民地化過程を朝鮮側の抵抗に言及しつつ論じるとともに、上の文章の内容を踏まえて「韓国併合」の性格について述べなさい。あわせて「韓国併合」と比較しながら第一次世界大戦後に登場した委任統治とはなにかを述べ、このような新たな統治方式がとられた背景を論じなさい。

日 本 史
(歴史総合・日本史探究)

I 日本列島に暮らす人びとの生活は、有史以来、下記の資料1)～3)のようにさまざまな災害にさらされてきた。それにより、地域の政治経済や生活に大きな変化をもたらされた。次の文章を読んで(引用文は出題にあたり原本より一部改変して表記している)、下記の問いに答えなさい。(問1から問5まですべてで400字以内)

資料1) 『続日本紀』によれば、その災いは同じ年とその翌年に、次のように記された。

- A. 八月十二日 この頃大宰府管内で、その災いにより死亡するのが多い(中略)長門国よりこちらの山陰道諸国(中略)ひたすら斎戒し(後略)
- B. 十一月二十一日 穀物の実りが非常に悪かった。夏から冬にかけて全国的に(中略)若死する者が多かった。
- C. 翌年十月二十二日 男女すべてが苦しんだ。農作業もできぬことがあり(中略)今年の田租を免除し、人民の命をつながせるように。

資料2) 『方丈記』によれば、その災いは、次のように記された。

- D. (前略)世中飢渴して、あさましき事侍りき。或は春・夏ひでり、或は秋大風・洪水など、よからぬ事どもうち続き、五穀ことごとくならず(後略)
- E. 京のならひ、何事につけても、みな、もとは田舎をこそ頼めるに、絶えて上るものなければ(後略)

資料3) 『吾妻鏡』によれば、その災いは、次のように記された。

- F. 3月19日 乙巳 今年世上飢饉。百姓多く以て餓死せんと欲す。仍って武州伊豆・駿河両国の間、出挙米を施しその飢えを救うべきの由、倉庫を有する輩に仰聞けらる。

問 1 資料 1)の災いは何と考えられているか、もっとも有力な災いの名称を答えなさい。この災いにより公卿の父を亡くし、九州で反乱を起こした貴族の名前を答えなさい。

問 2 資料 1)の A～C の内容をふまえ、以下の用語をすべて使い、初期荘園に至る経緯を説明しなさい。

用語：公地公民制，三世一身法，墾田永年私財法

問 3 資料 2)の書物の著者の名前、および D の災いは、日本史上、何と呼ばれているかを答えなさい。

問 4 資料 2)の D と E の内容に則しながら、この災いを介した、都市と農村の間に想定しうる物流および人流を簡潔に説明しなさい。

問 5 資料 3)の災いにより生じた社会状況の変化をふまえて、その後の御成敗式目の制定に至る経緯を、下記の用語をすべて使い、説明しなさい。

用語：流民，食糧，荘園，地頭，武士

- Ⅱ 次の史料は、日本とロシアの関係について報じる『東京朝日新聞』の記事である（一部を省略のうえ、表記を改めている）。これを読んで下記の問いに答えなさい。（問1から問4まですべてで400字以内）

著作権保護の観点から、 公開していません。

（「日露間の重大事件と五月」）

- 問1 下線部(a)に関して、これに先だつ安政元年に締結された条約によって、権太の扱いはどのように取り決められていたか、簡潔に説明しなさい。
- 問2 の人物は、幕臣として戊辰戦争を戦ったのち、明治政府の一員に加わった。外務大臣などを歴任した、その人物の氏名を書きなさい。
- 問3 下線部(c)に関して、この出来事の名称を書きなさい。また、この出来事は、当時の日本の外交に、直接的にどのような影響を及ぼしたか、説明しなさい。
- 問4 下線部(d)に関して、この出来事はどのような経緯と理由でおこったか、またのちの日露関係に、直接的にどのような影響を及ぼしたか、説明しなさい。

- Ⅲ 次の文章は、国際法学者で日本の外務官僚の倉知鉄吉が、1909年に自身が「韓国併合」の語を考案した経緯を、のちに回顧して記したものである。これを読んで問いに答えなさい。(問1、問2をあわせて400字以内)

著作権保護の観点から、 公開していません。

(春畝公追頌会編『伊藤博文伝 下』より引用、ただし一部改変)

問1 下線部が示す1867年に成立した同君連合の帝国名を書きなさい。

問2 1905年以降の朝鮮植民地化過程を朝鮮側の抵抗に言及しつつ論じるとともに、上の文章の内容を踏まえて「韓国併合」の性格について述べなさい。あわせて「韓国併合」と比較しながら第一次世界大戦後に登場した委任統治とはなにかを述べ、このような新たな統治方式がとられた背景を論じなさい。

地 理
(地理総合・地理探究)

I オランダ養豚業の変遷について、以下の問いに答えなさい。

問 1 ヨーロッパ連合(EU)は、その前身の時代より、共通農業政策(CAP)を策定・実施してきた。そして、非加盟国から安い農畜産物を輸入する場合に、課徴金の支払いを定めていた。しかし、そのなかにあってもオランダは輸入する家畜飼料への課徴金支払いを免除されており、それはEUを超える世界規模での貿易体制について国際的に合意されるまで続いた。この課徴金支払い免除の結果は、図 I—1 の何年ごろから何年ごろまでの、どのような変化として現れているのかを説明しなさい。また、この国際的合意に至る交渉の名称を答えよう。また、EUがどのような諸国からのどのような求めに応じて課徴金制度の見直しを受け入れることになったのか、説明しなさい。(125 字以内)

問 2 オランダの養豚業は、国内で環境問題を引き起こすようになった。他方で、同国の養豚業は海外でもさまざまな問題をもたらす一因であることが指摘されるようになった。オランダの養豚業は国内と国外のそれぞれにおいて、どのような問題を生んだのか、説明しなさい。(150 字以内)

問 3 図 I—1 が示す全期間の主要な変化傾向を説明し、それを手掛かりとして、オランダの養豚家が国内で生じた環境問題に対応する経営戦略の一つとして行っていると考えられることを述べなさい。(125 字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

注：一般に、養豚には次のような形態がある。種豚を飼育し他の飼育者に未成熟の豚を販売する「子取り経営」、購入した子豚を成長させ肉用に販売する「肥育経営」、子取りと肥育を組み合わせる「一貫経営」である。

出所：FAOSTAT により作成。

II 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

問 2 下線部(2)について、どのように変化した世界か、歩くことと自動車の関係に着目して答えなさい。(25 字以内)

問 3 ラスヴェガスが発展してきた背景を述べ、さらに同都市の持続可能性に関する課題について説明しなさい。(100 字以内)

問 4 ニューヨーク市とワシントン D.C. では、生活環境にどのような違いがあるか、表Ⅱ-1 と表Ⅱ-2 から読み取れること、および自動車など交通手段の利用を含めて説明しなさい。解答にあたっては、ニューヨーク市を N、ワシントン D.C. を W と略してもよい。(150 字以内)

表Ⅱ-1 ニューヨーク市とワシントン D.C. の地下鉄

著作権保護の観点から、
公開していません。

*うち 3 路線はシャトルとよばれる鉄道で、2～4 駅間を小さな車両で折り返す。

**ワシントン D.C. のほか、隣接するメリーランド州やバージニア州の一部にも運行。

出所：日本地下鉄協会編『完全版 世界の地下鉄』2020 年により作成。

表Ⅱ-2 ニューヨーク市とワシントン D.C. の高層ビル上位 4 棟

著作権保護の観点から、
公開していません。

出所：Council on Tall Buildings and Urban Habitat (2023) により作成。

Ⅲ 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

発展途上国から外国へと一時的に、あるいは長期にわたって移住した人々が出身国へ向けて行う送金は、出身家族の貧困を緩和し、災害からの生活再建に役立つ場合もある。送金は商品やサービスを購入するために使用され、それを受け取る国全体の発展にも大きな影響を与えている(帰国時の対面での現金授受や、現物贈与を含めると、外国からの経済的インプットは、さらに大きいだろう)。こうした外国からの送金は、政府開発援助(ODA)や、民間資金の流れ(企業が他の国・地域に対して行う直接投資など)と並んで、途上国の経済・社会にとって、大きな意味をもっている。他方、教育や訓練への投資によってより高い生産性と所得を実現する人的資本として人間を考えれば、外国への移住には良い面、悪い面の両方を指摘する必要がある。さらに、こうした移民は、受け入れ国においてさまざまな問題に直面することも少なくない。

問 1 下線部(1)について、外国からの送金は ODA や民間資金の流れのもつどのような問題点を補って、一国の社会経済の発展を担うものとなりうるか、説明しなさい。(125 字以内)

問 2 下線部(2)について、外国への人的資本の送り出しが、送り出した国の経済発展に対してもつ良い面と悪い面を説明しなさい。(125 字以内)

問 3 図Ⅲ—1 の A について、最も適切な国名を一つ答えなさい。1 マス空け、図Ⅲ—1 が示す A 国以外の四つから任意の一つを選んでその国名を答えながら、その国と A 国が移民の送り出しに至った背景には、どのような共通点と相違点があるのかを説明しなさい。ただし、送り出し国の経済成長、生産年齢人口、移住目的、国内失業など、適切な観点を選び、図Ⅲ—1 が示す傾向と関連づけながら解答すること。(150 字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

注：中国には香港・マカオ・台湾を含む。

出所：在留外国人統計(旧登録外国人統計)により作成。